

# 地域再生 協議会だより

事務局 百合が丘 2 - 29 - 6 (百合が丘老人憩いの家) 59 - 9356 (火、金午前)

## 百合が丘社協が第 1 号店

### 共同キッチン、11 月 20 日オープンへ

一色小学校区地域再生協議会県公社部会（薮健夫部会長）が百合が丘商店街で計画中的のコミュニティダイニング（共同キッチン）の利用者第 1 号が固まった。百合が丘地区社協部会（金子宜男部会長）が 11 月 20 日（日）の「福祉まつり」を機に喫茶店スタイルの店をオープンし、その後は毎週木曜日に営業する。公社部会では現在、共同キッチンの運営方法を検討しており、利用料は光熱費などのランニングコスト程度とする予定。百合が丘社協のような定期利用のほか、サークルや地域団体のスポット的な利用を期待しており、年末以降、積極的な活用を呼びかける。

百合が丘社協は当面、コーヒー中心のメニューでスタートし、様子を見ながら拡充する。毎木曜 10 時—15 時までの営業とし、1 日 3 名を基本に 20 名程度のボランティアが交代でサービスに当たる。商店街の買物客や通行客などの利用を想定し、地域住民の交流の場を目指す。今のところ社協の行事スペースとして活用することは考えていない。（以下裏面へ）



改装工事が急ピッチで進んでいる

友情の山部会（岡村昭寿部会長）は 11 月初めから一色小・友情の山の間伐に着手する。すでに町教育委員会、一色小、同 PTA との話し合いを終えており、間伐作業は湘南二宮・ふるさと炭焼き会（井上光正会長）と協力して進める。作業は週末、冬春休みを中心に行い、28 年度内に作業を終えたいとしている。

作業協力を得るふるさと炭焼き会は、一色地区に炭焼き釜を持つボランティア団体。町内外のみかん山、里山の保全、管理の実績がある。友情の山では間伐木の一部を除いて

## 友情の山の間伐始まる

炭焼き場に搬出する。

友情の山では、下草刈りを除いて計画的な樹木管理を行って来ておらず、群生する山百合の生育、里山の環境保持の両面から手入れが必要とされてきた。同部会では、一色小などとの打ち合わせに加え、山百合、里山の生態に詳しい県専門家のアドバイスを得て樹木管理計画を練ってきた。対象になるのは最も本数の多い外来種の棕櫚（しゅろ）のほか、イヌシデ、コナラ、クヌギ、桜老木、雑木など。直径 20 センチ以下が大半を占める。

県公社は共同キッチンの基本コンセプトを「食を通じて地域の住民同士が交流する囲炉裏端・縁側」とする方針を決め、関心を示す団体、個人に参画を呼び掛けてきた。現在、幾つかの組織が定期利用の検討に入っている。公社としてはこの基本コンセプトの枠内で、地域サークルや趣味の会、料理愛好家などのスポット利用も積極的に受け入れる方針だ。

対象店舗の面積は1,2階合計で80㎡強。キッチンをはじめとする飲食サービス用の施設、備品は公社が用意する。「食」を介在にした交流の場であることから、パーティーや食事会の利用が多くなると見て店舗裏にはピザ釜なども設置した。

## 里山遊歩道、「一色小」、地域公園

### プロジェクト3候補、事前調査へ

新たなプロジェクトテーマについて議論していた地域課題検討部会（廣上正市部会長）は里山遊歩道の整備、一色小の地域交流拠点化、魅力ある地域公園づくりを取り上げることになった。部会内に3つの分科会を設け、正規の事業テーマになり得るかどうかの事前調査に取り組む。併せて、新規テーマやプロジェクトの進め方に関して子育て世代、女性の意見を反映させるワークショップを開く方向で検討している。

同部会は6月に発足し、短期間でスタートした地域再生協議会が今後、数年かけて取り上げるテーマ案件の検討に入っていた。外部識者を招いた勉強会を含めすでに6回の会合を行い、各委員の提案をもとにした案件の絞り込みを進めていた。今後、里山遊歩道の整備は、高橋哲也氏（百合が丘3）、一色小の地域交流拠点化は加藤良輝氏（緑が丘）、魅力ある地域公園づくりは渡辺貢成氏（百合が丘2）がリーダーになって進める。

3テーマのうち、里山遊歩道の整備では、地区内を巡る散策ルート・健康ウォークマップづくり、地域内の観光資源の発掘・体系化など。一色小の地域交流拠点化では、コミュニティスクール化への対応に加え、空き教室・スペースと地域コミュニティ活動の関係など。魅力ある公園づくりでは、地域内公園のあるべき姿の検討などに取り組む。

このほか、事前調査に当たっては外部識者の協力を得ながら、専門家との意見交換や先駆的事例の情報収集を行いたいとしている。検討メンバーの公募は分科会案件を正式テーマとして取り上げるめどがついた段階で実施する——などの点についても確認した。

## 音楽ウィーク始まる

秋の音楽ウィークの第1弾、県公社部会（薮健夫部会長）のやまゆり里山音楽祭キックオフ祭りが22日（土）、川勾神社境内で行われた（写真）。当日はサクソフォン・カルテット Adam、ウクレレ SHIN などが出演。神社境内の能舞台から現代風サウンドが響き渡った。公社部会は26日（水）のちいさな絵本音楽会（ラディアン）、27日（木）のチンドンブラスバンド（駅周辺）、28日（金）の音楽祭本公演・団地創生シンポジウム（ラディアン）と、連続開催同日午前には団地見学会を計画している。音楽ウィークの最後尾を飾るのは30日（日）の「一色小で音楽祭り」（一色小体育館）で、再生協議会が主催する。



サクソフォン・カルテット Adam